

実践！命を守る防災力講座

「被災した地域だからこそ伝えよう！」



「手をつなごう朝倉防災プロジェクト」
あさくら元気塾実行委員会

杷木松末「ホタル公園」のようす 2017. 7. 5~6



杷木松末「ホタル公園」のようす 2017. 7. 5~6



杷木松末「ホタル公園」のようす 2017. 7. 5~6



杷木松末「ホタル公園」のようす 2017. 7. 5~6



杷木松末のようす 2017. 7. 5~6



第1回講座 豪雨から1年 ～朝倉の実態を知ろう～

平成30年7月11日(水)19:00～21:30

講師 三谷泰浩さん

(九州大学大学院工学研究院附属アジア防災研究センター教授)

なぜ災害が起こったのか？

①朝倉市・東峰村を中心に線状降水帯が発生し、年間の1/3の量の雨が6時間に集中して降ったことで、同時多発的に斜面崩壊が発生し、土石流が発生。平野部に大量の土砂や流木が流れてきた。

②歴史的に見た朝倉市の地形や地質。



風水害・土砂災害としては
最大規模の災害が起きた



今後の防災への取り組みは？

- ①自分の身を守るための知識を身につけること。
- ②家族や地域と共同で取り組むこと。
- ③復興計画は住民と行政が協働で作成し、復旧・復興は住民自ら考え、行政は耳を傾けなければならない。





「手をつみごう職員研修プロジェクト」
あさくら元気塾 5回連続講座



開講式

第2回講座 被災体験から学ぶ

今備えるべき○○！

平成30年8月19日(日)13:30~16:00

講師 九州北部豪雨を体験された5名の方々
ファシリテーター 杉本めぐみさん



岸本 晃さん（東峰）村営ケーブルテレビ
「東峰テレビ」総合プロデューサー）



小城 和正さん（杷木）
60才で北九州から移住）

ワールドカフェ



ファシリテーター 杉本めぐみさん

- できていること
- これからやりたいこと
- 近所力を高めるために
できること
- 行政でしてほしいこと



第3回講座 大災害に備える ～高齢者・障がい者・子ども・男女共同参画 の視点から～

平成30年9月2日(日)13:30～16:00

講師 浅野幸子さん

(減災と男女共同参画研修推進センター共同代表)

「手をつなごう朝倉防災プロジェクト」
あさくら元気塾 5回連続講座



林朝倉市長・田頭筑前町長・澁谷東峰村長

・男女共同参画の視点から～

講師 浅野 幸子

減災と男女共同参画 研修推進センター 共同
早稲田大学地域社会と危機管理研究所 招聘

声をあげることが大切と話す浅野さん

- ①高齡者や障がい者の死亡率の高さ
- ②昼夜間での避難行動の中心人物の違い
- ③関連死の多さ

性別や立場の違いへの気づきのためのワークショップ



特に話したこと

- ①高齢者の寝床の環境改善
- ②食事（アレルギーの人でも安心して）
- ③トイレ環境

第4回講座 3日間生き抜くための サバイバル技術

平成30年11月11日(日)10:30~14:00

講師 里川径一さん
(あさくら観光協会事務局長)

被災して3日間は
救助隊や救援物資が届かない

会場 旧松末小学校



校舎内外の当時の状況を
説明していただきました

①テントたて



里川さんの
指導のもとに



みんなで協力
しながら完成!



② サバイバル飯作り



空き缶の上が炊飯
下がコンロ



カセットコンロで！

ポリ袋で湯煎して
カレーや卵焼き、ケーキ作り

できあがったご飯！



新聞紙で

③グッズ作成・披露

ポリ袋で



食器やスリッパ



防寒着やポンチョ



紙食器でカレーを



おむつ



空き缶でご飯が炊けるとは驚き！



新聞紙やポリ袋が防災グッズに
変身するとは驚き！

空災害の恐ろしさを学んだ！



ウッドキャンドルで！

第5回講座 地域防災の今！！

防災組織の取り組みとワークショップ

平成30年12月2日(日)13:30~15:40

講師 地域の防災組織から3名の方
ファシリテーター 高崎 恵さん



「蜷城地区自主防災会」の立ち上げ
女性役員を40%へ



女性防災リーダーの必要性

自助

蜷城地区コミュニティ事務局長
羽野さん



東峰村役場総務課
岩下さん

九州大学とコラボした
地域防災マップ作り



連携の大切さ

公助



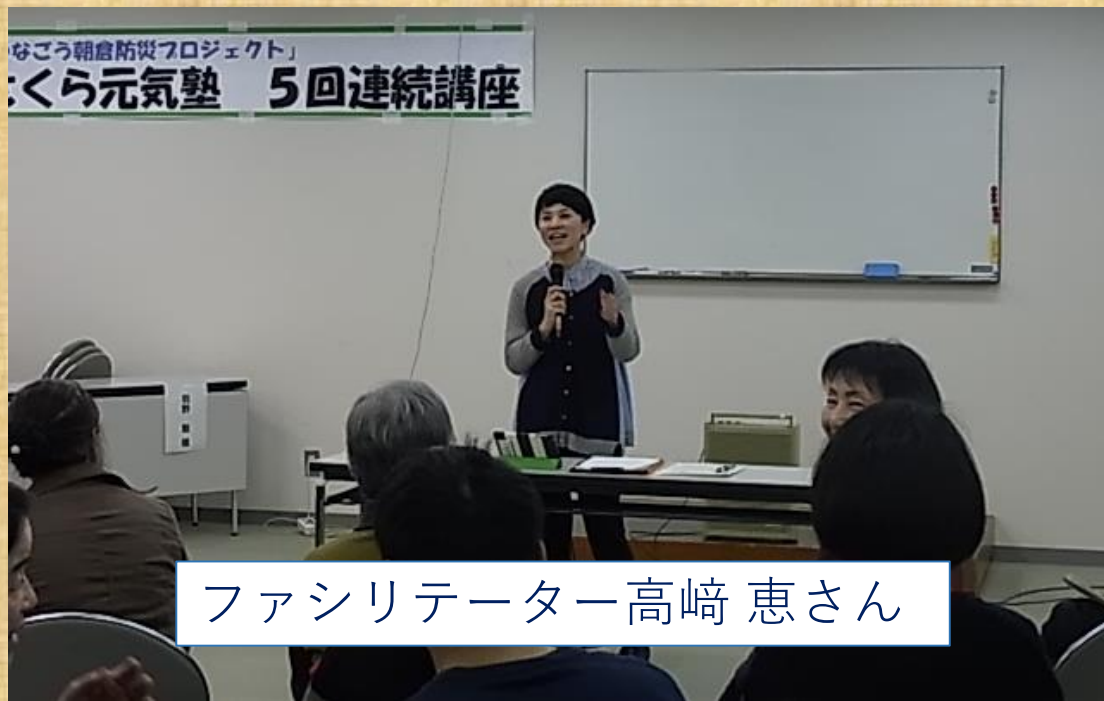
筑前町防災専門官
石川さん

行政と地域での避難訓練の実施



力を合わせた要支援
者や要配慮者の把握

共助



防災・減災への課題と対策

- ・ 今回の学びを一人ひとりがどう生かすか
- ・ 地域の中で知恵と力でどう発信していくか



気づく→知識にする→行動する
全員で共有する





・これを機会に地域活動をやりたい

・誰かに伝えなければもったいない

閉講式



・どうにかして地域に伝えたい

・防災士の資格を取りたい